



令和5年3月1日

No.102

編集人

公益社団法人

兵庫県精神福祉家族会連合会

新 銀 輝 子

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6階 TEL:078-891-3871 FAX:078-891-3872
メール: hyokaren@citrus.ocn.ne.jp オフィシャルサイト: <http://www.hyokaren.or.jp>

日本の精神科医療に国連が審査、改善勧告

兵庫県精神福祉家族会連合会 副会長 涌波 和信

—諸外国から60年遅れた日本の精神科医療と家族会活動の在り方—

障害のある人の人権や自由を守ることを定めた障害者権利条約に基づき、国連の権利委員会は日本に対して初めての審査が行われ、総括所見・改善勧告が公表されました。勧告では、障害のある人の強制入院や分離された特別な教育の中止などが求められています。法的拘束力はありませんが、極めて重く政府は対応を求められます。

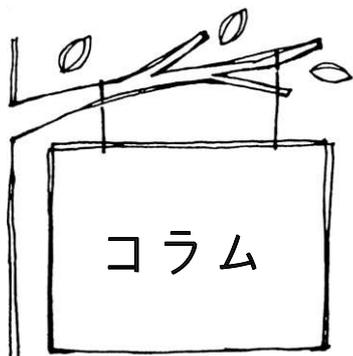
厚生労働省は精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることが出来るよう、医療、障害福祉、介護、住まい、社会参加(就労)、地域の助け合い、教育が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

令和4年4月から全国の高校生の保健体育教科書に「精神疾病」を記載し、7月から早期発見、早期治療における疾病軽減の観点から緊急時における適切な医療及び保護の機会を確保するため精神科救急医療体制を整備して兵庫県下の「精神科救急急性期医療病棟(スーパー救急病棟)は8病院(宝塚三田病院、ありまこうげんホスピタル、関西青少年サナトリウム、新生病院、湊川病院、ひょうごこころの医療センター、明石こころのホスピタル、高岡病院)」に絞りました。10月から病床数の見直しによる長期継続入院をなくして各病院は地域連携部を設立して地域社会につながりを持つ、開けた病院となります。

「ある日突然精神疾患の宣告を受け途方に暮れ具体的な解決もできずに、ただ何が何だか分からないまま月日が過ぎ、今の環境から抜け出したい、希望の糸口を見つけない!」当事者、ご家族に一步でも回復への導きをするのが家族会の使命です。

五大疾病の第一位は精神疾患で、統合失調症、双極性障害、依存症、摂食障害、発達障害等となり、投薬のみでは回復は不可能です。

家族会は病院、診療所、市役所の精神保健福祉課、障害者相談支援センター(拠点)、精神科訪問看護・介護ステーション、居住支援法人、地域活動支援センター、就労支援事業所等と連携して地域で自立して安心して自分らしい暮らしが出来る活動を期待します。



神出病院看護師による

虐待事件のその後

兵庫県精神福祉家族会連合会 会長 新銀 輝子

あの、忌まわしい事件が起きて早 2 年が経とうとしている。

あれから、何が変わったのだろうか、患者様に退院者が増えたと聞き、医療従事者の退職も多いと聞く。正確な人数迄把握する事は出来ないが、何らかの動きがあったのではないか。院長も変わり、新たな体制で取り組んでいると聞く。先日、神出病院に出向いて行き、パンフレットをいただいて帰ってきた。パンフレットの表紙には、「やさしく生命をまもる」と記されており、実に皮肉な面持ちになった。あのような事件があった病院とは到底思えないほどの笑顔で対応してくださりつつも、地域移行の話には消極的なのが印象として残った。第三者委員会からの報告を受け、神出病院は何を変えようとしているのか、過去を振り返り、家族、本人が抱いた絶望感と人間不信、屈辱の思いにどの様に向き合い、心癒してくれたのだろうか、私達家族会にとっては他人ごとではなかった。何故なら、同じ苦しみを味わうかもしれないと言う恐怖を持っているからだ。心の傷を負わすのは人間だけれど、その傷を癒すのも人間でしかありえない。

今、ひょうかれんでは、この事件を無駄にすることなく兵庫が本気になって人権に向き合える地域となれるよう、応援して下さる団体と共に働きかけている。10 月初旬には兵庫県にも他団体と共に行政に要請書を提出した。ひょうかれん独自でも県への要望書を提出した。その内容の大筋は、神出病院を始めとし、全ての病院で病院を利用する側として、対等に病院側と意見交換が出来る場を設定していただく事である。

100 年前に、日本の精神病者は私宅監禁と言う方法で、身内である患者を家族が監禁すると言う十字架を背負わせた歴史があることを忘れる事は無い。そこから、100 年経った現在、今度は病院と言う囲いの中で、人権が奪われたのである。

家族会は、身内の人権の為、家族の人権のため、地域で暮らす全ての人の人権の為に人権を脅かす全ての行為を許すわけにはいかないと考えている。

改めて、精神障がい者と言う人間がいるのではなく、普通の人間が何らかの原因で疾患となり、障がいを持った普通の人間であり、普通の家族であることを理解してほしいと思う。

精神障がい者の福祉施策充実にする要望書の回答

※要望書の内容は、ひょうかれん NO.101 に掲載しています。

1. 「ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議公共交通部会」(JRを含む県内公共交通事業者が参画)にて、ひょうかれんからの要望を交通事業者に伝え、働きかけます。
2. 精神障害者相談員法制化については、国に対して今後も引き続き提案を行っていきます。
3. 精神障害者保健福祉手帳2級の所持者には、日常生活又は社会生活で援助が必要とされる状況があることは認識しているが、本制度をすべての市町に共通の基盤的な制度として実施しており、持続的で安定的な制度として現行制度を維持したい。
4. 今年度から、新たな学習指導要領に基づき、全ての県立高校の教科保健の授業で「精神疾患の予防と回復」の授業を実施しています。小学校では、心の健康の分野で不安や悩みへの対処、中学校では心身の機能の発達と心の健康の分野でストレスについて学習するなど、小・中・高で系統立てて学習を進めています。また、公立小・中学校には、スクールカウンセラーを配置、県立高校及び中学校にはキャンパスカウンセラーを配置し、児童生徒や保護者の相談、教職員のカウンセリングマインドを高める研修を行っています。その他、全中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置し、学校だけでは解決困難なケースに対して、関係機関等と連携、調整を行い、各教育事務所に学校問題サポートチームを設置し、複雑化する学校の課題に対して、効果的・機動的に支援しています。また、県立学校問題解決サポートチームを設置し、学校支援体制の整備を行っています。
7. 企業内ジョブコーチは、国の「職場適応援助者助成金」があり、企業在籍型のジョブコーチも対象となっている。県では短時間労働者の支援も可能な独自のジョブコーチ制度がある。さらに、週 10 時間以上 20 時間未満の短時間の試行雇用から開始し、期間中に 20 時間以上の就労を目指す国の「障害者短時間トライアル雇用」助成制度がある。
10. 精神科医療機関の人員配置は医療法にて精神科病院が有すべき標準が定められている。一方、適正な医療の確保のために、診療報酬は精神科医療における役割に応じた評価が講じられている。
12. 神出病院は神戸市所在なので、院内の施設設備確認や指導などの現場検証の有無について県として見解を示す事ができませんが、県下(神戸市以外)の精神科病院の医療環境を含め必要な指導を、医療法所管課とも連携しながら継続します。令和 2 年 7 月 1 日付「精神科医療機関における虐待が疑われる事案に対する対応について」を踏まえ、各精神科病院での虐待発生(疑い含む)時の迅速な対応について、院内での対応に加え、県への連絡体制の確保と連絡の徹底、虐待防止マニュアルの整備などの虐待防止対策を行うよう周知徹底を行いました。また実地指導に際し、虐待にかかる事項は重点指導事項として確認を行っています。

精神障がい者の福祉施策充実に関する要望書の回答（つづき）

15. 令和3年度に「兵庫県ケアラー支援に関する検討委員会」を設置し、令和4年2月に「兵庫県ケアラー・ヤングケアラー支援推進方策」を策定した。この方策に基づき、令和4年度から当事者同士の交流活動に対して必要な経費を補助するピアサポート活動への支援を行っています。その他、令和4年6月に県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口を開設し、ヤングケアラー等への支援強化のための関係機関職員への研修を実施しています。

第18回兵庫県障害者芸術・文化祭 令和四年度兵庫県障害者福祉大会

日時:令和4年11月26日(土)13:00~16:00

場所:たつの市総合文化会館 アクアホール

おめでとうございます

下記に兵家連会長表彰受賞者をご紹介します

個人の部

氏名	住所	所属
赤松 茂毅	宍粟市	NPO 法人しさわ

団体の部

団体名	所在地	代表者
明石ともしび会家族会	明石市	会長 岩永 静子

ひょうかれんは、あなたのご支援で運営されています！

ひょうかれん賛助会員募集

会員の皆さまには、会誌「ひょうかれん」を年3回お届けします。また、年1回誌面でご紹介させていただきます。

年会費：団体の場合 一口10,000円

個人の場合 一口3,000円

一口以上何口でも結構です。

振込先：郵便振替 01110-4-83568 兵家連





きょうだい会について

福田 裕士

こんにちは、きょうだい会の担当をしております福田です。

私自身がきょうだい児として育ったので担当させて頂いております。

ここ半年のきょうだい会の活動報告と致しまして、開催するごとに新しくメンバーが増えていっております。その要因として一つに挙げられるのは、FAX での事前予約は引き続き行っておりますが、グーグルフォームからも事前予約できるようになった事も大きいかと思えます。手元のスマートフォンもしくは PC での予約が主流になっていることから、そちらでの予約が手軽ということかと思えます。その成果として、20 代女性 30 代女性 40 代女性と比較的若い年齢層の方々が増えております。一方で FAX をして予約をする文化は家族会関連以外の民間サービスで存在するでしょうか？現在私は 32 歳男性ですが、基本的にはメールや QR コードからネットにログインし、アンケートの回答や予約を行う事ばかりで、FAX での予約は非日常になります。今後の家族会の発展は、このような予約方法を取り入れる事が集客への 1 歩にも繋がり、家族会を知らない人への情報提供になるかも知れません。

きょうだい会にて話された話題として、きょうだいとして生まれた事にまだまだ受け入れられないという意見であったり、両親からの愛が何か欠けていたような気がする。両親には感謝したいが障がいのあるきょうだいを見ないで自分の人生を全うする事に罪悪感もあるなど、とてもセンシティブかつ、きょうだい児でしか分かり合えない話題ばかりで、きょうだい会の役割をしっかりと全う出来ていると感じております。引き続き、きょうだい会が参加者のよりどころになるよう努めていきたいと思えます。

お気軽にご相談ください

ひょうかれん電話相談

病気のことや経済的なこと、くらしの悩み、福祉制度（手帳・年金・他）利用の手続きなどについて、県から相談員として委託された家族会員や精神保健福祉士などが相談に応じます。ぜひご利用ください。

TEL : 078-891-3886

平日 10 時～12 時、13 時～15 時





ピアサポート研修を終えて

兵庫県精神福祉家族会連合会 副会長 藤田 行敏

兵庫県から受託した「兵庫県地域移行促進人材養成研修」ですが、8/17,18の基礎研修、9/8,9の専門研修を終え、昨年度の63名に続き、今年度も52名の修了者を輩出することができました。

兵庫県では精神障害者の地域移行を推進することが目的で行ってきましたが、報酬上の加算もあることから、相談支援事業所だけでなく就労継続支援A型、就労継続支援B型からの参加も多くありました。

また昨年と比べ今年は他障害領域から講師をお招きし、開催したことも特筆すべきと思っています。

事業所の管理者、当事者が同じ席で学ぶことの素晴らしさ、団結力もこの研修の醍醐味ではなかったかと思います。

「ピアサポート」とは何か、その効果は何か、実際に各現場で活動されている方にとって、再度原点に立ち返り学べたことは大きな意義があると思っています。今後現場に戻り、そこでかかわる当事者の利益、希望をかなえながら、支援していくことの大切さを学び、研修の成果を活かしていただきたいと思っています。

同時に精神障害者の地域移行についてもまだまだ遅れています。いまだ多くの精神障害者が本来であれば地域で生活しておかしくないのに、病院での生活を余儀なくされています。このような事態を一刻も早く無くし、病気が治れば地域で生活するという本来の姿に戻していくことが必要と思っています。

来年度以降もこの研修は続きます。特に昨年もそうでしたが、今年も相談支援事業所からの参加が少なく感じました。ピアを雇用する難しさもあるかもしれませんが、ピアサポーターという新たな働き場所を確保し、同時に地域移行をはじめとして、職場で働くあるいは利用する当事者の喜んでくれる姿を見るためにも、より多くの方が研修に参加し、「ピアサポートとは」を実感してほしいと思っています。

今回も多くの管理者、当事者の方に運営面でもお世話になりました。みんなが協力し合い、同じ目的に向かいこれからも尽力していきたいと思っています。今後ともよろしく願い致します。

精神科救急窓口のご案内

精神科救急情報センター電話番号：078-367-7210

平日：午後5時～翌日午前9時
土・休日：午前9時～翌日午前9時
(平日昼間は健康福祉事務所へ)

※ご利用の際は、氏名・住所・連絡先を対応職員に教えてください。



ご報告



中央区家族会会長就任に際して

中央区家族会 会長 久保 功

この度前任の谷原様の体調不良による再任辞退を受けて神戸市の中央区家族会会長になりました、久保功と申します。若輩者ではございますが、何卒よろしく願いいたします。

かねてから精神の不調をうたえていた妻が大きな発作を起こし、精神病院に緊急入院したのが 2014 年、それ以降、いくつか大変な苦労があったのもまた事実で、中央区家族会の皆さんに出会うまでは孤独の中、闇の中で苦しんでいるような気分を味わうことも度々ありました。

今は家族会の皆様や中央むつみ会、そして神家連の皆様ともつながることができ、少しの平安を覚えつつあります。今後は家族会のみなさまの 8050 問題といった内部の課題はもちろん、いまだ苦しんでいる当事者家族の方々、さらにはヤングケアラーという大きな問題についても出来る限り取り組んで少しでも前に進めていきたいという思いです。

どうぞご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

マイドリーム家族会

兵庫県精神福祉家族会連合会 顧問 本條 義和

マイドリーム家族会は、家族だけでなく精神障害者や発達障害者の雇用を進めようとするものが立ち上げた。ひょうご障害者福祉協同組合と連携し、雇用促進シンポジウムを行い、バザーに参加し各種団体に出かけて意見交換をしている。

力を入れているのは、市町議会議員精神保健研究会及び労働者協同組合^(注)の立ち上げ、家族会の活性化です。精神保健研究会は、県議会だけでなく神戸市、明石市、姫路市、加西市で結成され活発な活動をしている。私たちは、ひょうご障害者福祉協同組合の大野由紀雄専務理事等と共に、赤穂、相生、加古川、丹波篠山、たつのの各市議会、また相生、丹波篠山、たつのの各市長とお会いして精神保健に関し意見交換をした。各市議会議員、首長さんも熱心に聞いてくださり、「研究会を立ち上げ、家族の声や精神保健福祉の現状をもっと知りたい」と前向きのお話があった。少し残念だったのは、市によっては家族会が消滅して寂しい思いをしたことです。

(注) 労働者協同組合とは、組合員が出資しそれぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織です。(令和4年 10 月 1 日施行)

投稿

弊社の住居確保等支援活動について

一般社団法人アフレル 代表理事 上野 啓太郎

皆さま初めまして、寄稿の役を仰せ仕りました一般社団法人アフレルの上野と申します。

本日は簡単ではありますが、ご挨拶と事業内容、展望をお話させていただきます。

私共は 2019 年 8 月より営業を開始し、①訪問介護・②グループホーム・③居住支援の 3つの事業を神戸市中央区・灘区・東灘区を中心に展開しています。訪問介護以外聞きなれない単語と存じますので簡単にご説明を。

障がい者グループホームとは、障がい者の支援をする福祉サービス「共同生活援助」のことです。食事や掃除、入浴など日常生活を送るうえで必要なことのサポートを受けながら、地域の中にある共同生活住宅で暮らし、自立を目指す事業です。

居住支援とは、住まいの確保に困難を抱える人々(たとえば高齢者、障がい者、低所得者、外国籍の人など)に対して、民間賃貸住宅を提供することで居住の安定をはかることを目的とする事業です。

現在 8050 問題や障がいのある方の地域移行が課題となっています。

特に精神科領域では退院後の住居確保が大きな課題となっております。何らかの理由で新たに住居を確保しなければいけない方にとって、家探し等円滑に退院することが中々難しい状況です。

私は居住支援やグループホームは現状を打破する手掛かりになると考えています。

居住支援について、入居前の支援と入居後の支援を行い、住居のミスマッチ防止と入居後のトラブルを未然に防ぎ、極力地域で生活し続けるためにサポートしています。

グループホームは住む場所・食事・服薬等総合的にサポートし、ご本人が健康的に生活を送れるよう支援を行っています。上記の事業はいずれも私どもだけではなく、訪問看護・医療機関・相談支援事業所等と一緒に連携しております。

最近では 8050 問題における「私(親)がいなくなった時」についても各士業(弁護士、司法書士等)と連携を模索しております。

今後も神戸を中心に地域に根差し、「障がいのある方を住むことから支える」をテーマに阪神間でグループホーム事業と居住支援事業を展開する予定ですのでご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



家族の手記



家族学習会のための 担当者研修会開催

河上 紀子

10月3日秋晴れの日、県福祉センターにて家族による家族学習会のための「担当者研修会」が開催されました。参加者24名の予定でしたが、コロナの影響で実際は18名でした。

講師陣は福岡県精神保健福祉会連合会の守谷さん隅谷さん、広島県精神保健福祉会連合会の野々川さん、兵家連の代田さんでした。

下記のプログラム通り、みなさん熱心に受講され、5時間の研修を終えられました。

参加者の書かれたアンケートを紹介します。

「アドバイザーの的確なアドバイスが素晴らしく、とても勉強になりました」「準備をしっかりとってほしいと思います。前向きに考えます」「自分が参加した家族学習会では、担当者の方たちがいろいろな気配りや雰囲気作りをしていたんだなと気づきました」



プログラム

「家族学習会」とは

家族学習会当日の流れ

「おもてなし」の心構え

ウォーミングアップ

家族学習会の準備

ゆで卵理論

～困難を受け止め、
対処を支える～

「家族による家族学習会」
グループワーク

「ゆで卵理論」については、事例の相談内容をうまく白身と黄身^(*)に分けて説明していただきよく理解できました。また、グループワークは、「本音トークができて、このご縁に感謝します」「家族学習会の練習ができ、大変勉強になりました」(参加者のアンケートより)とても活気のあるグループワークになりました。

この研修会を経て、兵庫県で「家族による家族学習会」があらこちらで実施され、目的である「家族が元気になること」につながっていくことを願います。

(*) 家族の生活はゆで卵の黄身(悩みや困難さ)を白身(家族として対応できていること)で支えていることの理解

当事者の声

心の病気側の視点

西宮市 ピアサポーター KS

心の病になってからもうすぐ19年。いまだに、仕事を始めても2カ月位しか続かない。仕事量を減らすと何とか続くという感じだ。今年で37歳。少しは成長できたかなと思っても、いやそうでもないかなと思ったりして、自分でがっかりする。

病状がひどい時には、殆ど何もできない。通院するだけで精一杯なのだ。

心の病は、やはり普通の人からの理解はなかなか得られない。普通の人感覚だとちょっと分からないのだろう。心がとても弱くこわれそうになっている。人が怖くなり、外出も避けようとする。

でも少し回復してきた時には、何かを始めようとする。この繰り返し。この積み重ねが大事なのかもかもしれない。

その中で仕事なんか難しいものだ。そんな状態で何かに挑戦しようとしているだけでも評価すべきだと自分は思う。普通の人と同じレベルで生活できないにしても、その人なりの独自の生き方もできるはずなのだ。

「死にたい気持ち」はよく分かる。自分も死にたくなる時があるのだから。ハンディが多すぎてどうにもならない。希望が見いだせない。しかし、神様もそんなにひどくない筈だ。楽しく過ごせる時期もある。生きながら地獄を経験したら、その後は一皮むけた人間になれるような気がする。どうやら80歳位まで生きてみないと分からないものかもと思ったりする。

生きていれば、失敗もする。でもチャンスもある。自分もあまり人に言えないような恥ずかしいこともたくさん経験している。もちろん心の病のせいにははられないが、それを恥ずかしく思う必要はない。障害を背負って、死にたくなるほど苦勞して、なお頑張っているのだから。

病状が安定してきた頃には、ちゃんとした大人になっているはずだと自分は思っている。

結局、心の病を持つ人は、人としてより成長できるチャンスがあるのだ、ということをおききたいと思う。

みんなねっと賛助会員・購読者募集中

兵家連では家族会の全国組織である「みんなねっと」の活動を支え、更に発展を促す為に「月刊みんなねっと」購読者の拡大活動を行っています。

賛助会員（購読料金）

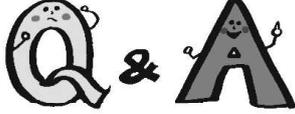
- ・個別賛助会員 年会費 3,600円
- ・特別賛助会員 年会費 5,000円～
2冊以上の団体賛助会員もあります。



詳しくは、みんなねっと (TEL03-5941-6345・平日10～16時) まで。

みんな
ねっと

電話相談



今回もご相談いただいたご家族からの事例をご紹介します。
なお、守秘義務により内容は若干変更させていただいております。

「この病気さえなければ」

ひろし

Q 息子が病気（統合失調症）を発症してから 15 年、私の人生は何もかも狂ってしまった。息子の病気に振り回され、この病気さえなければ、どれほど苦しまなくて済んだか。入院退院のくり返し。退院して自宅に戻って来ると夜中に大声を出して、ご近所から警察に通報される始末。もうクタクタ。私のやりたかった習い事や友人との旅行も、全て何もかも諦めました。生きて行くことに疲れはてました。

A 大変ご苦勞なされたのですね。この病気をお持ちの方は症状も様々あると聞いております。いつも悪い状態が続くのではなく、体調の良い日もあれば、大変な日もある様ですね。主治医の先生から処方されたお薬は飲めていますか。

Q 「自分は病気じゃないから飲まない」と言っていたこともありましたが、いまは先生の言われた通りに飲んでます。

A それは良かったですね。時間はかかるかも知れませんが、根気強く治療していきましょう。お母様が「この病気さえなければ」とおっしゃるのはごもっともです。でも、この病気でない方も病気以外のことで悩みながら日々を過ごしておられることもたくさん聞いております。「この病気さえなければ」という思いと同時に、息子さんの出来る所、良い所も見てあげて下さい。きっと良い所もたくさんあるのではないですか。良い所は声に出して言ってあげて下さい。きっと息子さんも気持ちがあぐれ、楽になると思います。そして、何よりお母様が疲れて、倒れることがない様になさって下さい。ご自身の楽しみや好きなこと、例えば映画を観に行ったり、美味しいものを食べに行ったりすることもなさって下さい。そしてまた疲れてしまったら、いつでもお電話下さい。

Q 私の話聞いてもらい、何か気持ちも楽になりました。また電話します。

*今回は家族相談員による回答をお伝えします。共感をもたらす安心感も大切な支援になると考えています。

兵家連活動日誌

役員 の 動き
(2022年9月~12月)

KSKP

発行人…関西障害者定期刊行物協会 / 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F
一九四八年八月二〇日第三種郵便承認 毎月(一・二・三・四・五・六の日)発行

定価…五十円

9月	3	デジタルデバйд解消事業(阪神北地区) <伊丹市障害福祉センター アイ愛センター>(伊丹あじさいの会)
	4	第2回メンタルヘルスセミナー<神戸市立総合福祉センター>(南部)
	5	立憲民主党政策要望意見交換会<神戸市教育会館>(新銀、浦波、南部)
	7	会誌102号編集委員会<県福祉センター> (南部、浦波、代田、新銀、藤田、本條、三木(ZOOM)) 第2回理事会<県福祉センター>(※1)
	8	兵庫県障害者ピアサポート研修(専門)<県福祉センター>(藤田) 兵庫県精神科救急医療体制連絡調整委員会<県民会館>(浦波)
	9	兵庫県障害者ピアサポート研修(専門)<県福祉センター>(藤田) ころやすらぐひろばICT(神戸・阪神地区)<ネット・電話>(南部) ころやすらぐひろばICT(三木地区)<ネット・電話>(新銀)
	10	デジタルデバйд解消事業(北播磨地区)<アイグルー内相談室>(ほのぼのの会) デジタルデバйд解消事業(神戸地区)<神戸市立総合福祉センター>(木の芽家族会)
	11	ころやすらぐひろばICT(姫路・中播地区)<ネット・電話>(大塚)
	14	デジタルデバйд解消事業(阪神北地区) <三田市総合福祉保健センター>(にじの会・あすなろ)
	16	県議研究会世話人代表小西県議意見交換会<県庁>(新銀、南部) ころやすらぐひろばICT(北播磨地区)<ネット・電話>(新銀)
	17	デジタルデバйд解消事業(北播磨地区)<アイグルー内相談室>(ほのぼのの会)
18	ころやすらぐひろばICT(明石地区)<ネット・電話>(南部)	
23	兵庫県精神障害者相談員スキルアップ研修<姫路市総合福祉会館>(新銀)	
25	ころやすらぐひろばICT(淡路地区)<ネット・電話>(みはら家族会)	
27	但馬・北播・丹波地区研修会実行委員会<庵ノ上>(初田)	
10月	1	兵庫県精神保健福祉協会総会<書面決議>(新銀)
	2	ころやすらぐひろばICT(明石地区)<ネット・電話>(南部)
	3	家族による家族学習会担当者研修会<県福祉センター>(河上) 兵庫県福祉審議会<県民会館>(藤田)
	5	第4回運営委員会<県福祉センター>(※2)
	8	ころやすらぐひろばICT(三木地区)<ネット・電話>(新銀)
	9	ころやすらぐひろばICT(姫路・中播地区)<ネット・電話>(大塚)
	12	ひょうかれん会長会<ZOOM>(新銀・南部)
	13	第14回みんなねっと全国大会<ZOOM>(新銀、南部) ホームヘルパー研修会丹波市社会福祉協議会ホームヘルプセンター(講師)<木の根センター>(新銀) 令和4年度兵庫県福祉サービス運営適正化委員会<豊岡市社会福祉協議会>(三木)
	14	第14回みんなねっと全国大会<ZOOM>(新銀、南部) 兵庫県第2回集中支援協議会<県民会館>(藤田) ころやすらぐひろばICT(神戸・阪神地区)<ネット・電話>(南部)
	15	ころやすらぐひろばICT(三木地区)<ネット・電話>(新銀)
	16	ころやすらぐひろばICT(明石地区)<ネット・電話>(南部)
	18	第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」兵庫県選手団結団式<県民会館>(新銀茂) 但馬地区こころの病家族教<香住文化会館>(のぎく家族会、新銀)
	19	兵庫県精神障害者相談員スキルアップ研修<ZOOM>(新銀)
	23	ころやすらぐひろばICT(淡路地区)<ネット・電話>(みはら家族会) 第60回きょうだいい会<県福祉センター>(福田)
27	しみん基金こうべ助成金審査会<こうべまちづくり会館>(南部) 第4回みんなねっと理事会<ZOOM>(新銀)	
30	2022年度みんなねっと近畿ブロック家族の集い<奈良県文化会館小ホール>(新銀)	

11月	2	第2回理事会<県福祉センター>(※1)
	6	ころやすらぐひろばICT(明石地区)<ネット・電話>(南部)
	10	阪神地区精神保健福祉研修会 <三田市まちづくり協働センター>(にじの会) 第4回メンタルヘルスセミナー<灘区文化センター>(南部)
	11	ころやすらぐひろばICT(神戸・阪神地区)<ネット・電話>(南部) ころやすらぐひろばICT(三木地区)<ネット・電話>(新銀)
	12	デジタルデバйд解消事業(神戸地区) <神戸市立総合福祉センター>(木の芽家族会)
	13	ころやすらぐひろばICT(姫路・中播地区)<ネット・電話>(大塚)
	14	強度行動支援部会<県民会館>(藤田) 兵庫県第2回集中支援協議会<県民会館>(藤田)
	16	兵精協挨拶(新銀、浦波、南部)
	18	中・西播磨地区精神保健福祉研修会 <上郡町生涯学習支援センター>(ほっとみのり家族会、新銀)
	19	ころやすらぐひろばICT(三木地区)<ネット・電話>(新銀) ころやすらぐひろばICT(明石地区)<ネット・電話>(南部)
	20	デジタルデバйд解消事業(阪神南地区) <尼崎市女性センタートレビエ>(ころ・あんしんLight)
21	但馬・丹波・北播地区精神保健福祉研修会 <加西市健康福祉会館>(加西家族会)	
24	県会議員研究会<県庁>(新銀、南部、浦波)	
26	兵庫県障害者芸術・文化祭<たつの市総合文化会館>(新銀)	
12月	27	ころやすらぐひろばICT(淡路地区)<ネット・電話>(みはら家族会) デジタルデバйд解消事業(東播磨地区)<ふれあい作業所>(明石ともしび会) 中・西播磨地区こころの病家族教室<福崎町文化センター>(中播磨峰の会) 神家連心の病家族教室<神戸市立総合福祉センター>(神家連)
	28	兵庫県精神障害者相談員スキルアップ研修<宝塚市立西公民館>(新銀・久下)
	30	会誌102号校正会議<ZOOM>(新銀、南部、藤田、大塚、三木)
	1	県会議員打ち合わせ<県議会議長室>(新銀、浦波)
	3	こころの病家族教室(阪神南地区)<尼崎市立中央北生涯学習プラザ>(あまかれん)
	4	ころやすらぐひろばICT(明石地区)<ネット・電話>(南部)
	7	第5回運営委員会<県福祉センター>(※2)
	8	第5回メンタルヘルスセミナー<灘区文化センター>(南部) 令和4年度第2回運営監視合議体会議<県福祉センター>(三木)
	9	ころやすらぐひろばICT(神戸・阪神地区)<ネット・電話>(南部) 京家連来訪<兵家連事務局>(新銀、南部)
	10	ころやすらぐひろばICT(三木地区)<ネット・電話>(新銀)
	11	ころやすらぐひろばICT(姫路・中播地区)<ネット・電話>(大塚)
12	兵庫県自立支援協議会<県民会館>(藤田) 障害福祉課来所<兵家連事務局>(新銀、藤田)	
14	会長会<ZOOM>(新銀、南部)	
15	第11回こころのアート展<しあわせの村>(新銀)	
17	ころやすらぐひろばICT(三木地区)<ネット・電話>(新銀)	
18	ころやすらぐひろばICT(明石地区)<ネット・電話>(南部)	
21	デジタルデバйд解消事業(阪神南地区)<中央北生涯学習プラザ>(あまかれん)	
25	ころやすらぐひろばICT(淡路地区)<ネット・電話>(みはら家族会) 第61回きょうだいい会<県福祉センター>(福田)	

※1 新銀、南部、浦波、藤田、佐伯、ZOOM参加 久下、福田、新銀(茂)、三木、山口、小林
※2 新銀、南部、藤田、浦波、大倉、佐伯、新銀茂
※3 新銀、南部、藤田、浦波、佐伯、ZOOM参加 久下、福田、新銀(茂)、三木、山口、小林

編集後記

今、秋真っ只中。一番しのぎやすい筈。今週何と、気温10℃の差が数日続く。コートと半袖が入れ替わり。スポーツ、芸術、読書、食欲プラス値上げの秋。これが読まれる頃は3月の筈。桜が芽吹く頃の筈。コロナも収束に近い頃の筈??? (代田)

編集委員：新銀、浦波、南部、藤田、大塚、三木、代田